

本邦における渡航外来の拡がりとは島の現状

COI 開示

演題発表内容に関連し発表者に開示すべき
COI関係にある企業などはありません

渡航医学が扱う領域

人の移動に伴う健康被害を扱う医学領域

Outbound

- ・ 渡航前の予防医療
- ・ 帰国後間もない体調不良の診療

Inbound

- ・ マスギャザリング
- ・ 訪日外国人・移民・難民

Traffic

- ・ 航空機内や旅客船内の環境と疾病

関係学会の活動で専門家は増えつつある

渡航医学 普及までの歴史

最初の専門家 米国のMartin Wolfe医師



熱帯医学をベースにガーナ、パキスタンで実地調査。その後キッシュンジャー国際医官と世界を回り、1979年に初のトラベルクリニック始める。
(写真：NOEL NEM)



The Washington Post

Martin Wolfe, doctor specializing in tropical and travel medicine, dies at 72

医学としての発展は彼から

欧米では 1988 International Society of Travel Medicine (ISTM)
本邦では 1997 日本渡航医学会

渡航医学への Background

- ▶ 熱帯医学専門医
- ▶ 感染症専門医
- ▶ 産業医
- ▶ 小児科医
- ▶ 国際保健医療
- ▶ 海外医療協力
- ▶ 企業保健担当者
- ▶ 海外生活経験者
- ▶ 旅行が好きだから
- ▶ 語学に堪能だから
- ▶ 臨床研修病院の特徴
- ▶ HIV診療の経験と研修
- ▶ 英語診療や文書作成
- ▶ 麻疹、風しん等の流行
- ▶ 予防接種のニーズの増加
- ▶ 渡航医学は楽しい



.....様々なBackgroundの人が参加

渡航医学 日本渡航医学会の紹介 Lets visit the website

設立趣旨には
感染症のみならず、海外医療全体について考える……
海外で邦人が抱える問題を…実効性のある対策を…
医師、看護師、保健師のみならず、海外医療を担当する者も…

学術集会、学会誌、出版物

医療職認定制度、研修会

トラベルクリニック部会

産業保健委員会、インバウンド委員会

看護部会、薬剤師部会、歯科部会



学会HPより

広島市の渡航外来 現在までの歩み

- ▶ 定期接種・任意接種の基礎は医師会・かかりつけ医
渡航前は、予防接種センター・広島検疫所・企業立病院
渡航外来を掲げる医療機関・・・
- ▶ 2013年当院にて輸入ワクチンの接種を始める
広島大学病院渡航外来開設
- ▶ 2015～2017年 中国中央病院でワクチン外来
- ▶ 2018年 福山市民病院 渡航ワクチン外来開設
- ▶ 2019年 海外ブランドのワクチンの国内承認へ



広島大学HPより

広島市の渡航外来 2013年 広島大学病院の渡航外来開設から認知が広がる



■主な内容■

1. 海外渡航に関連した健康相談および感染症情報の提供
2. 渡航前（海外旅行、留学、出張など）の各種ワクチン接種
3. マラリア、高山病予防内服薬の処方
4. 英文診断書の発行
5. 帰国後の体調不良（発熱、下痢など）の診療

広島大学病院感染科HPより



広島県の渡航外来 現在までの歩み

- ▶ 定期接種・任意接種の基盤は医師会・かかりつけ医療機関、予防接種センター・広島検疫所・企業立病院渡航外来を掲げる医療機関・・・
- ▶ 2013年当院にて輸入ワクチンの接種を始める
広島大学病院渡航外来開設
- ▶ 2015～2017年 中国中央病院でワクチン外来
- ▶ 2018年 福山市民病院 渡航ワクチン外来開設
- ▶ 2019年 海外ブランドのワクチンの国内承認へ



広島市役所より

広島県の渡航外来におけるワクチン接種数

- ▶ 広島大学病院
 - ① 2014年1～3月 3か月間 193名
 - ② 2013年11月～2015年4月 18か月間 469名
- ▶ おだ内科クリニック
 - ③ 2013年6月～2014年7月 14か月間 254名
 - ④ 2017年8月～2018年8月 12か月間 364名

広島大学病院：第1回日本感染症学会学術集会(2014)
2年連続会場：第130回日本感染症学会学術集会(2019)
24回会場：日本感染症学会(2014)
24回会場：第23回日本感染症学会学術集会(2019)

渡航者のワクチン接種率は低いのか？

1) ほとんどの渡航者は出国にあたり予防接種を受けていないのか？

広島県 出国日本人数 25.7万人 (JNTO 2014)
旅券発行枚数 6.1万件 (旅券統計2014)

2014年ごろの渡航ワクチン接種数は
広島大学病院と当院の合計で年間推計500～600名
他は、予防接種センターや企業関連病院

2) 途上国長期滞在者の予防接種率は55.8%
(2005年時点の調査) 調査年、感染症学雑誌33(4)

重要なのは予防接種が必要とされる渡航者に適切に実施されているか
接種希望者の受け皿は十分か？

渡航ワクチンの接種ができる 渡航外来のある医療機関の整備は

施設数(日本国内、ウェブサイト調べ)

▶ 日本渡航医学会のトラベルクリニックリスト

会員が診療する施設 106
認定医療職在籍施設 51

▶ 国際渡航医学会 (ISTM)

国内の会員在籍施設 44
CTH在籍施設 38
国内登録会員 108名

現在在籍数	126
広島県内に	3
広島市内	2
福山市	1
岡山県	2
愛媛県	2
山口県	1
島根県	0
鳥取県	1
自都府に	47(37%)

©K. Oda, グローバルヘルス台湾大会 2017

当院の受診者から見たニーズと傾向

受診目的： 予防接種、証明書、予防投薬

居住地： 広島市内・広島県内、岡山、山口、愛媛、島根県

受診者の職業：

海外勤務・出張～製造業の企業が多い
大学職員・学生～調査研究、卒業旅行
高校生～留学準備・海外研修
小児・児童～帯同家族
その他～VFR・観光



当院における渡航外来

(1) 予防接種受診者の年齢分布と渡航先



2019-2014 4年間の統計 広島県内98(1)

最近のワクチン接種率

A型肝炎 75%
B型肝炎 51%
狂犬病 50%
破傷風 65%
日本脳炎 33%
腸チフス 40%
髄膜炎菌 3%

2017-2018 4年間の統計
ISTM 25回 in presentation

当院における渡航外来
(1-a) 渡航ワクチン ハードウェアとソフトウェア

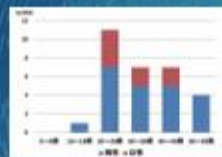
ワクチン保管と接種

- 薬品保冷庫 (5°C±3°C)
- 庫内温度記録機器
- 非常用電源設備
- 接種用電動椅子
- 接種を記録する書類
- 予防接種予診票
- 診療録：部位、方法(筋・皮)
- ワクチン：ロット、有効期限
- 予防接種証明書
- 予防接種後副反応への対応
- 救急医薬品
- 予防接種後副反応疑い報告書



予防接種の知識
輸入ワクチンの添付文書

当院における渡航外来
(2) 帰国後体調不良(感染症)の
年齢分布と渡航先



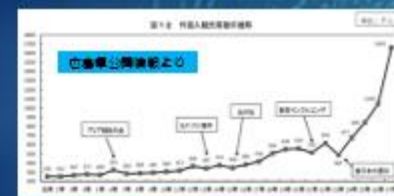
2016年7月から
2017年7月まで
海外からの帰国後に
感染症症状で受診した
患者 30名



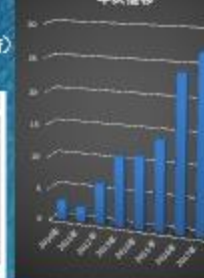
小笠原 千寿子 広島大学71 (2)

当院における渡航外来
(3) 訪日外国人受診者

2015年の広島県訪日外国人は166万人
10年間で4.0倍に増加(日本全体の増加率 2.9倍)
当院においては過去7年間で 9.1倍に増加



当院における新着1,000人
あたりの外国人比率の
年次推移



小笠原 千寿子 広島大学71 (2)

当院における渡航外来
(4) 渡航予定者の英文医療文書

英文医療文書作成は原則ウェブ申し込み

合計 72名 (男:女=37:35)
年齢 0-55歳(中央値23歳)

渡航先
北米 38%
アジア 24%
欧州 10%
既定の書式あり 49%
初診前の一部作成 56%



本邦における渡航外来の拡がり
と広島県の現状
まとめ(1)

- ▶ 渡航医学の歴史はまだ浅いが、日本でも渡航外来(トラベルクリニック)が拡がりつつある
- ▶ 広島では2013年広島大学病院の渡航外来開設から急速に認知が広がった
- ▶ 現在までに数か所の医療機関で渡航ワクチン外来や渡航外来が行われるようになった
- ▶ 6年間の当院の経験を簡単に報告し、トラベルクリニックの様々なニーズを紹介した

本邦における渡航外来の拡がり
と広島県の現状
まとめ(2)

- ▶ 渡航者のニーズは企業・大学・団体などの派遣、個人の留学・観光・移住など
予防接種、予防薬などの処方、証明書などの英文医療文書、健康診断、帰国後診療が求められている
- ▶ 外国人観光客の増加、改正入管法成立で予想される外国人労働者の増加によりインバウンド医療も確実に増加すると思われる
- ▶ グローバル化が進む中、渡航医学の知識と経験はこれからの医療に必ず役立つと思われる